

# 第27回神奈川オープンふれあいテニール大会

## ＜新型コロナウイルス感染症防止ガイドライン＞

**選手の引率（応援）は、密集を避けるため、必要最小限にとどめる。**

### 1 大会役員、選手・引率者（保護者）・指導者の健康管理・衛生管理について 【参加チーム】

#### ＜参加資格について＞

出場するチーム（選手・指導者・保護者等）は、感染防止対策を講じるとともに、試合会場に入る前にマスクを着用すること。

◆大会当日・試合前10日間における次の状態の者は、参加は認めないこととする。

- ・平熱を超える発熱（37度5分以上）の場合。
- ・咳、鼻水、喉の痛み、悪寒等の症状（新型コロナウイルス感染症を疑う症状を有する者）のある場合、嗅覚、味覚を感じない場合、だるさ、息苦しさのある場合。
- ・感染症陽性の人との濃厚接触がある場合。
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる場合。
- ・政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域の該当在住者と濃厚接触のある場合。

① 健康チェックシートの提出を義務付ける。（登録選手・引率責任者・指導者）

※健康チェックシートの提出のない者や発熱が認められる者の参加は認めない。

② 手指消毒剤を持参する。

※医療班対応は、湿布、止血のみで、付き添いは1名までの同伴とする。

③ ベンチ入りは、選手と引率責任者（1名）、指導者（3名以内）入ることができる。

④ 試合中は、テニールの競技環境および競技の特性を考慮し、選手のマスク着用の義務付けはしない。飲食には指定場所で、距離をとり、会話をしないこと。

⑤ 試合の前後、手洗い（手指消毒）を徹底させる。

⑥ 熱中症へのいっそうの警戒予防のため、試合毎の水分補給をしっかりと行う。

**引率者・保護者の応援は、所定の場所で、ソーシャル・ディスタンスを保ち、声出しは控える。**

#### 【大会役員・本部】

① 健康チェックシートの提出を義務付ける。

② 消毒剤を用意する。（用具用・手指用など）

③ 常時マスクを着用。※試合中の球審・塁審のマスク着用は義務付けない。

- ④ 非接触型体温計を用意する。
- ⑤ 大会役員は、個人で水筒（ペットボトル）を用意する。（ジャグジーは用意しない）。

## 試合以外はマスク着用/試合の前後・食事前後・トイレ後の手洗い！

### 2 試合実施上の留意すべき事項について

- ① 試合前と終了後、バット・ボールの消毒をする。
- ② 試合前後の挨拶は、各チームベンチ前に整列して行う。※サークルを描くように整列し、ハイタッチでのあいさつは感染防止の観点から実施しない。
- ③ 先攻・後攻を決めるジャンケンは、ソーシャル・ディスタンスを保ち行う。
- ④ 水分は個人のペットボトル又は水筒で飲むこと（共用の水筒やジャグジーは使用しない）。
- ⑤ 素手でのハイタッチ、握手は禁止する。また、ボールを触った手で目・口・鼻を触らないように指導すること。
- ⑥ ベンチ内では、選手同士の間隔の確保に努め、近距離での会話や大きな声での声援は控える。指導者も（大きな）声を出して、指示等しない。
- ⑦ 各チームで準備した手指消毒液にて各チームの攻撃前ごとに消毒を行う。
- ⑧ レギュラー以外の選手や指導者等は、原則マスク着用とする。
- ⑨ メガホンの使用を禁止する。
- ⑩ 唾を吐く行為、手を舐める行為は禁止する。
- ⑪ 守備中に審判や選手と会話する場合は、自分のグラブで口を覆う形で行うこと。
- ⑫ 許可なく自分の試合会場以外の会場へ行かないこと。

### 3 試合終了後について

試合終了後、速やかに退場すること。移動は、マスクを着用すること。

試合後のミーティングは、マスクを着用して、指定されたスペースにて一定の間隔を保ち行う。

